

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-110	小学校	体育	保健	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
224・学研	保健・505	みんなの保健5・6年		

## 1 編修の基本方針

### 生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる

一人一人の夢や希望をかなえる土台となるのが健康です。心も体も健康であるためには、一人一人の生活だけでなく、周りの環境や社会も、健康によいものに変えていく必要があります。これからの時代の保健においては、助け合い、支え合って、みんなが健康に生きていける社会を作っていく資質・能力の育成が求められています。



これからの時代に  
求められる保健の  
資質・能力のイメージ

「みんな」が健康であるために、  
自分自身でできること、  
周りの人や社会に働きかけていくこと

保健の学習を通して  
育成すべき資質・能力

健康・安全についての  
基礎的な知識の実践的な理解と、  
それを基にした技能の習得

自らの健康課題を把握し、  
周りの人などと協働しながら  
考え、判断し、改善する能力

教育基本法に示された教育の目標の達成

どう  
実現  
するか

子供たちに求められる資質・能力の育成

## 編集の基本方針

### 1

健康とは  
どんなことか  
を考える教科書

積極的な健康観、  
共生の視点を  
基本に置いて内容を構成する。

### 2

健康とどう  
関係しているか  
を考える教科書

身の回りの事象や情報を、  
健康や安全と結び付けて考える  
学習活動を基本とする。

### 3

健康になるためには、  
どうすればよいか  
を考え、実践に結び付ける教科書

健康についての科学的認識と技能の習得、  
それらの活用による課題の解決に  
向けた学習活動を基本とする。

# 1 「健康とはどんなことか」を考える教科書

積極的な健康観、共生の視点を基本に置いて内容を構成する。

## 教科書最初の見開きで健康について考えることができる

導入で、健康とはどういうことかについて問いかけ、積極的な健康観、共生の健康観に気付くことができるようにしています。



▲表紙裏～ p.1

## さまざまな人がいることに気付くことができる

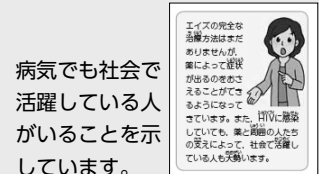
心の発達に応じていろいろな悩みを経験することや、よいところを探す活動を通じて、さまざまな人がいることに気付くことができます。病気の予防や回復においても、共生の視点で記述しています。また、写真の選定やイラストの作成で、共生の視点を大切にしています。



▲ p.15



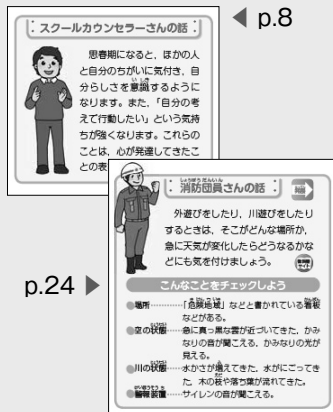
▲ p.9



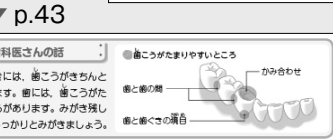
▲ p.39

## 健康が多くの人に支えられて成り立っていることに気付くことができる

多くの専門家の登場、資料などを通して、健康が多くの人に支えられ成り立っていることに気付くことができるようにしています。教科書の巻末では、さまざまな職業を取り上げており、キャリア教育につなげることもできます。



▲ p.8



▼ p.43



▲ p.57



# 3

## 「健康になるためには、どうすればよいか」を考え、実践に結び付ける教科書

健康についての科学的認識と技能の習得、それらの活用による課題の解決に向けた学習活動を基本とする。

### 健康や安全についての知識を科学的に習得することができる

実習や科学的な資料を用いて、健康に関する知識を習得することができます。



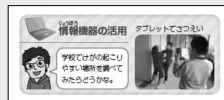
p.11



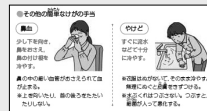
p.46



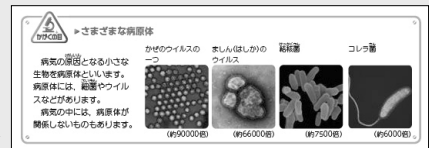
p.41



p.24



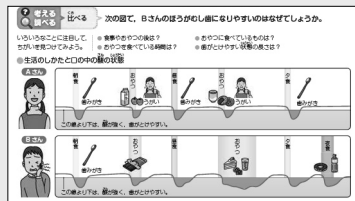
p.31



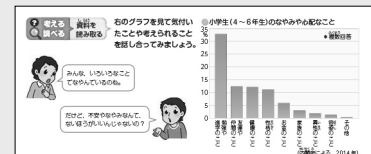
p.35

### 課題を見つけ、その解決に向けて思考・判断したり、表現したりすることができる

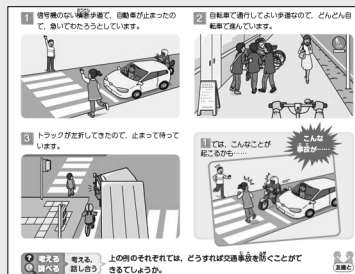
比べる、考える・話し合う（表現する）、資料を読み取る、調べるなどの活動を、学習内容に応じて適切に設定するなど、主体的・対話的で深い学びによって、思考・判断・表現する能力を養うことができます。



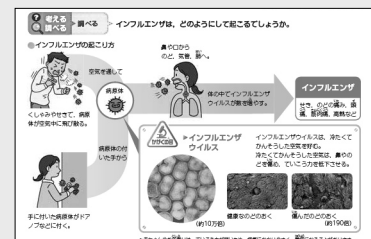
p.43



p.12



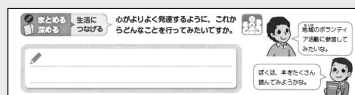
p.22



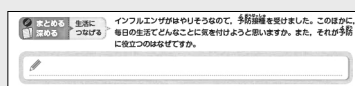
p.36

### 自他の健康課題の把握と課題解決の道筋を実践に結び付けることができる

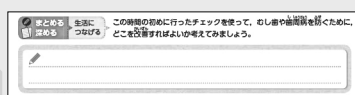
学習したことを活用して目標を立てたり、アドバイスしたりする活動を通じて、自他の健康課題の把握と課題解決の道筋を実践に結び付けられるようにしています。



p.7



p.37



p.43

#### 振り返る 深める つなげる 病気の予防

学習を振り返る 「病気の予防」で学習したことを振り返ってみよう。

- 病気の予防の重要性がわかった。
- 病気の予防には、生活習慣の改善が大切だとわかった。
- 病気の予防には、予防接種が大切だとわかった。
- 病気の予防には、手洗いやうがいが大切だとわかった。
- 病気の予防には、マスクの着用が大切だとわかった。
- 病気の予防には、十分な睡眠が大切だとわかった。
- 病気の予防には、ストレスの解消が大切だとわかった。
- 病気の予防には、定期的な健康診断が大切だとわかった。

学習を深める 「病気の予防」で学習したことを深めて、次のことについてチェックしよう。

学習をつなげる 「病気の予防」で学習したことを生かして、次のことに取り組んでみよう。

明日につなげる 「病気の予防」を学習して、生活に生かしていきたいことを学習してみたいと思ったことを書きましよう。

p.56

## 2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や安全に関する幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養う学習に取りかかりやすくするために、「健康って、どんなこと？」として児童への投げかけを示しています（第1号）。</li> <li>●主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように、健康のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを示しています（第3号）。</li> <li>●個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるように、一人一人が限らない能力とすてきな自分らしさを持っていることを示しています（第2号）。</li> <li>●健やかな身体を養うことができるように、運動やスポーツに親しむことの大切さを、豊富な写真で示しています（第1号）。</li> </ul>	表紙裏～ p.1
もくじ・保健学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けるために、保健学習の進め方や、保健の見方・考え方を働かせることを示しています（第1号）。</li> </ul>	p.2～4
1 章 心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな情操と道徳心を培うことができるように、心の健康についての学習を通して、多くの人との関わりや体験、遊び、学習などが大切であることを本文で記述しています（第1号）。</li> <li>●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、自他の敬愛と協力を重んずることができるように、自分のよいところを発見したり、気持ちを上手に伝えたりする活動や、いじめについて考える内容を取り上げています（第2号、第3号）。</li> </ul>	p.5～18
2 章 けがの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けることができるように、けがが起こる原因の分析を通して、危険の予測やその回避などについて課題解決的に学習できるようにしています（第1号）。</li> <li>●生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように、けがの手当の技能を身に付けることや、命を守るために必要な防犯・防災についての内容を充実させています（第4号）。</li> </ul>	p.19～32
3 章 病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幅広い知識と教養を身に付けることができるように、豊富な資料を基にした科学的な理解を踏まえて、さまざまな病気の予防や回復について学習できるようにしています（第1号）。</li> <li>●他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように、医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍を取り上げています（第5号）。</li> </ul>	p.33～56
資料 みんなの健康を守る さまざまな仕事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように、「みんなの健康を守るさまざまな仕事」を掲載し、キャリア教育につながるようにしています（第2号）。</li> </ul>	p.57

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 大きな判型（A4判）を採用し、詳しく豊富な内容と視覚的にゆったりとした紙面を両立しています。
- 本文の記述に当たっては、できるだけ平易に、理解しやすい表現となるよう努めています。
- 漢字は、無用な交ぜ書きをせず、6年生で学習する漢字までを使用し、当該学年以降に配当されている漢字のすべてにふりがなを付けています。また、読みやすさ、理解しやすさに十分配慮しながら、健康や体に関する用語は漢字を使用するようにしています。
- イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容・掲載点数ともに学習上の効果に十分配慮しています。
- すべての児童が読みやすいように、フォント、カラー、レイアウトなど、ユニバーサルデザインに配慮して作成しています。



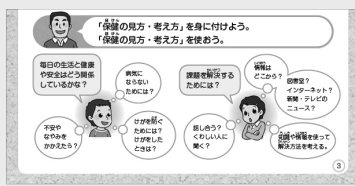
# 2 保健の「見方・考え方」を身に付け、働かされる構成

科学的な資料や健康と的確に結び付いた発問などで、保健の「見方・考え方」を身に付け、働かされる。

生活を保健の科学の視点で捉える。

## 保健の「見方・考え方」の提示

学習の進め方のページと各章のとびらで、保健の「見方・考え方」を働かせて学習に取り組むことを示しています。

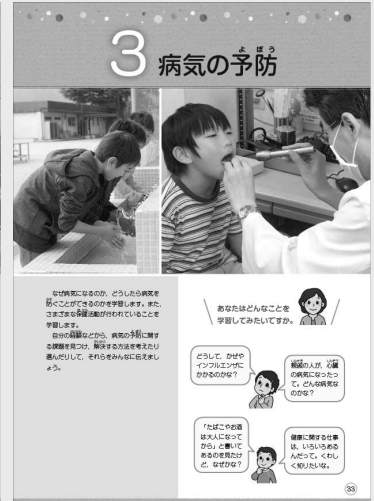


◀ p.3

各章のとびらでは、学習内容の明示とともに、児童が持つ疑問の例を示し、自らの課題を持って学習を始められるように工夫しています。



▲ p.19



▲ p.33

## 「かがくの目」

興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、「見えないものを見る化」した資料を掲載しています。

▼ p.11 脳と体をつなぐ神経の図解

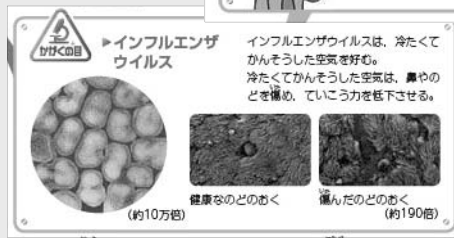


免疫が働いている様子 p.38 ▶



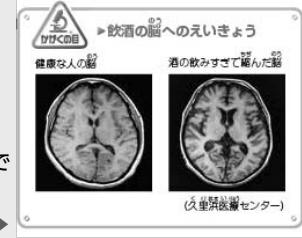
インフルエンザウイルスと傷んだのどの奥

p.36 ▶



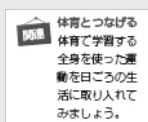
飲酒の影響で縮んだ脳

p.49 ▶



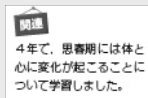
## 「関連」

保健の系統性、教科書内の関連、他教科との関連などを示しています。カリキュラムマネジメントにも役立ちます。



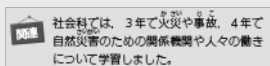
▲ p.41

運動領域との関連は、特にわかりやすく示しています。



▲ p.6

保健の系統性を示しています。

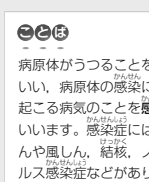


▲ p.19

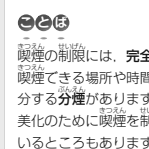
他教科との関連を示しています。

## 「ことば」

保健の学習で必要となる用語や、知っておいてほしい用語は、「ことば」として解説をしています。



▲ p.36



p.47 ▶







# 3 現代と未来を生きる子供たちの健康課題、学習課題に対応

現代的な健康課題、学習課題を充実させています。

## 運動領域との つながりを重視

口絵で、「心も体も元気に！／スポーツに親しもう」として、元気に外遊びをしている様子、年齢を超えて共にスポーツを楽しむ様子を示しています。また、オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を掲載し、スポーツを「見る」関わり方についても示しています。

p.41 ▶



▲表紙裏～ p.1

**関連** 体育とつなげる  
体育で学習する  
全身を使った運動を日ごろの生活に取り入れてみましょう。



p.14 ▶

## 安全に関する内容をさらに充実

防犯、防災について豊富な資料を基に学習できるように構成しています。

p.26 ~ 27 ▶



▲ p.28 ~ 29

特に、生命に関わる緊急の警報などについて、要点を整理して取り上げています。

## 「がん教育」「心の健康」 の内容をさらに充実

新たに加わった「がん教育」については、生活習慣病の項目で記述するとともに、時間をとってしっかり学習することもできるように構成しています。

「心の健康」については、いじめについて考えるページを新設し、さらに充実させました。



▲ p.44



▲ p.17

## 教科書の特色一覧

教育基本法との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第2条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。</li> </ul>
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【内容】学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。</li> <li>●【系統性】随所に「関連」を設け、保健について系統的に学習ができるように配慮しています。</li> <li>●【関連】口絵や「体育とつなげる」などにより、運動領域との関連を図っています。また、「関連」により他教科との関連を示しています。</li> <li>●【指導内容の明確化】各章のとびらで、学習内容の全体像を示しています。また、各項目の初めに「ここで学ぶこと」を設け、その時間で学習する課題を明示しています。</li> <li>●【実践的な理解】「つかむ」「考える・調べる」で生活や経験を振り返ったり、実習など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康・安全についての基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるようにしています。</li> <li>●【課題解決】各項目で学習課題を明示し、「つかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」の構成で、保健の見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて思考・判断するとともに、他者に伝える（表現）力を養うことができるようにしています。</li> <li>●【主体的な学習、協働】「友達と」マークや共有マークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれやすくなるようにしています。</li> <li>●【食育との関連】6年「生活のしかたと病気」で、食事の重要性を学習できるようにしています。</li> <li>●【道徳との関連】自分自身に関すること、人との関わりに関することなど、道徳の内容について保健学習全体を通して関連を図ることができるようにしています。</li> <li>●【言語活動】話し合う、表現する、記述するなどの言語活動を随所に設けています。</li> <li>●【家庭・地域との連携】「おうちで」「ちいきで」により、学習したことと家庭・地域との連携に配慮しています。</li> <li>●【選択学習】「もっと知りたい・調べたい」で、児童が興味・関心に沿って選択的に学習できるようにしています。</li> <li>●【キャリア教育】「地域のさまざまな保健活動」や巻末資料、専門家（キャラクター）の登場により、キャリアについて考えられるようにしています。</li> </ul>
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各項目の導入に生活を振り返りチェックする活動を設けたり、児童や教師などのキャラクターが語りかける形式を用いたりして、児童が親しみを持って主体的に学習に取り組むことができるようにしています。</li> <li>●構成や活動内容、関連ページなど、わかりやすいマークを用いて、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにしています。</li> <li>●「かがくの目」を随所に設け、科学的な認識を持てるようにしています。また、生活・行動の根拠が、単なる“しつけ”ではなく、科学的に認識できるように、論理的な文章と科学的な資料で構成しています。</li> </ul>
現代的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動、食事、休養・睡眠はもとより、コンピュータの使用、いじめの問題など、児童の日常生活と密接に関連した問題や今日的な課題を積極的に取り上げています。</li> <li>●防犯、防災を重視し、学習内容と適切に関連させて4ページ設けています。</li> </ul>
配列・分量 程度・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年ともに、学習指導要領で示された配当授業時数内で指導ができるように構成しています。</li> <li>●1単位時間見開き2ページを基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮しています。</li> <li>●児童の心身の発育・発達段階に適応し、身近な問題・自らの問題として取り組むことができるようにしています。</li> <li>●資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。</li> </ul>
特別支援教育・ ユニバーサルデザイン への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書体や色、表現・配列について、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。</li> <li>●「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(通称:教科書バリアフリー法)」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。</li> </ul>
表記・表現 印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文などで使用している書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮して選定しています。</li> <li>●環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。</li> <li>●製本はあじろ綴じで、特殊加工を施しており、2年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。</li> </ul>

## 2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>1 心の健康</b>	保健領域 内容の取扱い (7) (9)	p.5 ~ 18	小計 3 ~ 4 時間
1 心の発達		(1)ア (ア), イ p. 6 ~ 9	1
2 心と体のつながり		(1)ア (イ), イ p.10 ~ 11	1
3 不安やなやみへの対処		(1)ア (ウ), イ p.12 ~ 17	1
<b>2 けがの防止</b>		p.19 ~ 32	小計 4 ~ 5 時間
1 けがの発生		(2)ア (ア), イ p.20 ~ 21	1
2 交通事故の防止		(2)ア (ア), イ p.22 ~ 23	1
3 学校や地域でのけがの防止		(2)ア (ア), イ p.24 ~ 29	1
4 けがの手当		(2)ア (イ), イ p.30 ~ 31	1
<b>3 病気の予防</b>		p.33 ~ 56	小計 8 時間
1 病気の起こり方		(3)ア (ア), イ p.34 ~ 35	1
2 病原体と病気		(3)ア (イ), イ p.36 ~ 39	1
3 生活のしかたと病気①		(3)ア (ウ), イ p.40 ~ 41	1
4 生活のしかたと病気②		(3)ア (ウ), イ p.42 ~ 45	1
5 喫煙の害		(3)ア (エ), イ p.46 ~ 47,52	1
6 飲酒の害		(3)ア (エ), イ p.48 ~ 49,52	1
7 薬物乱用の害	(3)ア (エ), イ p.50 ~ 51,53	1	
8 地域のさまざまな保健活動	(3)ア (オ), イ p.54 ~ 55	1	
			5・6年 計 16 時間

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-110	小学校	体育	保健	第5・6学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※ 教 科 書 名		
224・学研	保健・505	みんなの保健5・6年		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
8	心って、どこにあるの？	1	(1) 心の健康 (1) ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (ア) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。	0.75
11	背骨の中を通る神経	2	(1) 心の健康 (1) ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。 (イ) 心と体には、密接な関係があること。	0.25
24	安全な行動をとるための留意点	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.25
27	インターネットを正しく安全に使う	2	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	0.5
28～29	自然災害や緊急事態に備えて	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。	2.0
30	心肺蘇生とAED	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。	0.25
31	熱中症	1	(2) けがの防止 (2) ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。 (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。	0.25

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
37	インフルエンザと診断されたら	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。	0.25
44	「がん」って、どんな病気？	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	1.0
45	いろいろな病気	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.5
45	医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍	2	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。 (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。 (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。	0.5
46	たばこのけむりの中の有害物質の例	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	0.25
53	医薬品の正しい使い方	1	(3) 病気の予防 (3) ア 病気の予防について理解すること。 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。	1.0
合計				7.75

(「類型」の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容